

# 取扱説明書 初版

## スピンバイク

### HG-Y700



このQRコードを  
読み取ることで、  
本製品の組立てなどを  
動画でご覧いただけます。



# 目次

---

はじめに	3
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために	
安全にお使いいただくために	4
スピンバイクの安全に係る事項	4
各部の安全に係る事項	5
主要諸元	6
梱包部品一覧	7
組立て	7
フロント土台キャスターの取付け	8
インシュレータの取付け	8
エンドキャップの取付け	9
土台の取付け（フロント）	9
土台の取付け（リヤ）	10
高さ調整	11
サドルの取付け	12
ハンドルの取付け	13
メーターの取付け	15
メーターの電池の取出し方	16
テンションノブの取付け	17
ペダルの取付け	17
運転操作の仕方	20
ブレーキのかけ方	20
負荷のかけ方	21
乗車姿勢の調整	21
●サドルの高さ調整	21
●サドルの前後位置と角度	21
●ハンドルの高さ調整	24
●ハンドルの前後調整	24
移動の仕方	25
メーターの見方	25
数値のカウントダウンの方法	26
点検・整備の仕方	27
ブレーキパッドの交換	27

お手入れの仕方	29
故障と思ったら	29
消耗品一覧・ご注文	30
保証内容について	31
お客様ご相談窓口	32

# はじめに

このたびはスピンバイクをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。  
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。  
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

## 安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



**警告**

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



**注意**

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



**禁止**

取扱においてその行為を禁止します。



**指示**

指示に基づく行為を強制します。

## 製品を長くご愛顧いただくために



取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。  
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

# 安全にお使いいただくために



誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

## スピンバイクの安全に係る事項

### 警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>・この取扱説明書に記載されている使用目的以外にこのスピンバイクを使用しないでください。</li><li>・このスピンバイクの使用に慣れるまではスピードを抑えて使用してください。十分に慣れるまで高速スピードで乗ることは絶対におやめください。</li><li>・このスピンバイクはフリーホイールシステムではありませんので、フライホイールが回転している間は、ペダルも回ります。ペダルに逆回転方向に圧力をかけて止めようとしないでください。</li><li>・怪我をする恐れがありますので、手でペダルを回さないでください。駆動部分が動いている間は、駆動部分に手を触れないでください。</li><li>・家庭でのご使用の場合は、未使用時のスピンバイクにお子様を近づけないでください。また、スピンバイク使用時には、お子様、ペットが近づかないようにしてください。</li><li>・シートチューブの高さを最高位置を越えて使用しないでください。</li><li>・立ちこぎはしないでください。</li></ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"><li>・衣類などが巻き込まれないようトレーニングに適した服装を心掛けてください。</li><li>・ペダルが回転している間はペダルから足を外さないでください。フライホイールの回転を徐々に緩めることで止まる構造になっています。</li><li>・フライホイールが完全に止まるまで、スピンバイクから降りないでください。</li><li>・トレーニング中に気分が悪くなったり、身体に異常を感じた時は、直ちにトレーニングをおやめください。</li><li>・高血圧、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、ぜんそく、慢性気管支炎、肺気腫、変形性関節症、リュウマチ、痛風、妊娠中の方、その他病気や障がいのある方はトレーニングを始める前に、必ず専門医師にご相談ください。</li><li>・上記病気や障害がある方は、医師から適切な健康診断結果を受取り、健康状態に適したトレーニングプログラムを構築するために、専門家のアドバイスを必ずお受けください。</li><li>・普段運動していない方は、スピンバイクの負荷を弱めでトレーニングをし、徐々に負荷を上げるようにしてください。</li><li>・スピンバイクは安定した、水平な床で使用してください。</li></ul>

### 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。</li><li>・付属の工具や適切な工具を使用して、スピンバイクを組立てたり、修理したりしてください。</li><li>・食事の後にトレーニングをしないでください。</li></ul>
 指示	<ul style="list-style-type: none"><li>・使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。可動部分の位置および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他トレーニングに影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。</li><li>・本体が熱くなったり異常に気付いた時は点検修理に出してください。</li><li>・破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や怪我の原因になることがあります。</li><li>・このスピンバイクは、屋内でのトレーニングを想定しています。屋外では使用しないでください。</li><li>・床面の擦り傷や汚れなどを防ぐため、ゴムクッションや薄い木板などを下に敷いてください。</li><li>・畳の上では行わないでください。</li><li>・トレーニング後、本製品に付着した汗を拭き取ってください。</li></ul>

# 安全にお使いいただくために

## ■無理はしない。

- ・体調がすぐれない時、トレーニング中に気分が悪くなった時は、トレーニングを中止してください。
- ・高血圧、糖尿病、狭心症、心筋梗塞など各疾患や妊娠中の方、その他病気や障がいのある方はトレーニングを始める前に、必ず専門医師にご相談ください。

## ■屋外では使用しない。

- ・本製品は、屋内でのトレーニングを想定しています。屋外では使用しないでください。

## ■ハンドルをしっかり握り、しっかり腰掛ける。

- ・立ち漕ぎはしないでください。
- ・身体を左右に揺らす漕ぎ方（ダンシング）はしないでください。故障の原因になります。

## ■ペダルから足を外さない。

- ・ペダルが回転している間はペダルから足を外さないでください。
- ・必ずスポーツシューズを履いてトレーニングを行ってください。
- ・衣類などが巻き込まれないよう、トレーニングに適した服装を心掛けてください。

## ■確実に固定。

- ・ノブレバーは確実に締付けてください。締付けが緩いと急に下がったり、外れたりし大変危険です。

## ■平らな床に設置。

- ・本製品は安定した、水平な床で使用してください。
- ・床面の擦り傷や汚れなどを防ぐため、ゴムクッションや薄い木板などを下に敷いてください。

## ■改造、分解は行わない。

- ・改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。

## ■お子様、ペットを近づけない。

- ・小さなお子様、ペットが本製品を遊具として遊ばないようにご注意ください。
- ・トレーニング中もお子様やペットが近づかないようにご注意ください。



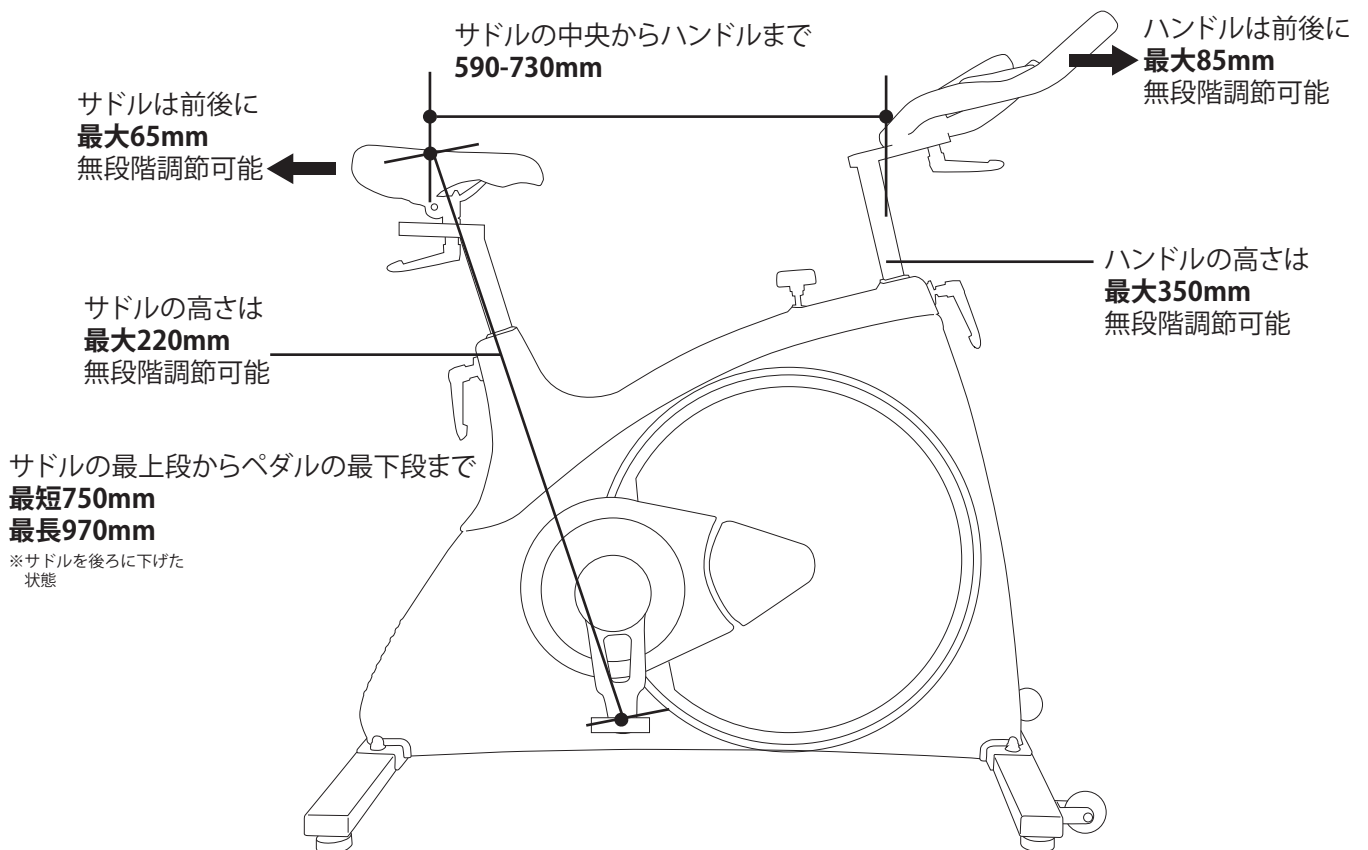
# 主要諸元

モデル名	HG-Y700
推奨身長	150cm～200cm
サドル高さ調整	無段階調節
サドル位置調整	前後に65mm
ハンドル高さ調整	無段階調節
ハンドル位置調整	前後に85mm
フライホイール	8kg
テンション方式	マグネット式
サイズ (W×D×H)	1100X585X990-1350mm
本体重量	40kg
耐荷重	100kg

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。





# 梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
  2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
  3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。

## 警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p><b>A. 本体</b></p> 	<p><b>B. ハンドルバー</b></p> 	<p><b>C. テンションノブ</b></p> 		
<p><b>F. 土台フロント</b></p> 	<p><b>D. サドル</b></p> 	<p><b>E. レバーハンドル ×3</b></p> 		
<p><b>G. 土台リヤ</b></p> 	<p><b>H. ペダル</b></p> 			
<p><b>I. ボルト、ワッシャ、ナット ×2</b></p> 	<p><b>J. キャスター ×2</b></p> 	<p><b>K. エンドキャップ ×4</b></p> 	<p><b>L. インシュレーター ×4</b></p> 	<p><b>M. メーター取付ステー</b></p> 
<p><b>N. サドルサポートチューブ</b> ※本体に取付済みの場合があります。</p> 	<p><b>P. メーター</b></p> 	<p><b>Q. ネジ緩み止め剤</b></p> 	<p><b>R. 工具★</b></p> 	
<p><b>O. ハンドルサポートチューブ</b></p> 				

※製造時期により部品の形状が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。★付属の工具は、簡易的なものです。

# 組立て

## 警告

- ・組立ては平坦な場所で行ってください。不安定な場所で行うと本機が倒れ、けがにつながる恐れがあります。
- ・組立作業中周囲に子供やペットが近づかないよう配慮をお願いします。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けられていることを確認してください。



このQRコードを読み取ることで、「組立て」を動画でご覧いただくことができます。

## フロント土台キャスターの取付け

- 1 キャスターに仮留めしているボルト、ナットを一旦外し、フロント土台のステーにキャスターを取付けます。



- 2 外側からボルトを通したら、反対側にナットを取付けます。



- 3 ボルトを 12mm のスパナで固定しながら、13mm のスパナでナットを締付けます。(ネジ山 2 つ分が飛び出るくらい)



- 4 反対側も同様に行います。

## インシュレータの取付け

- 1 フロント土台とリヤ土台の底面のネジ穴に、高さを調整するインシュレータを取付けます。

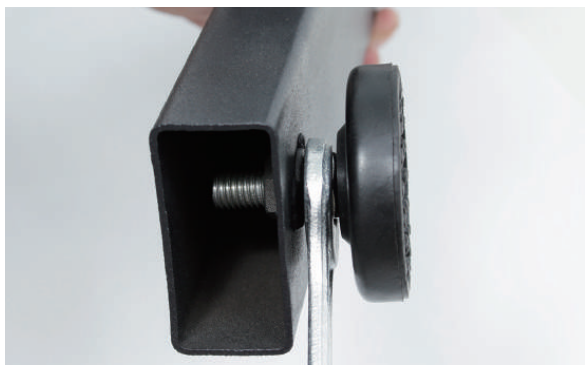




# 組立て

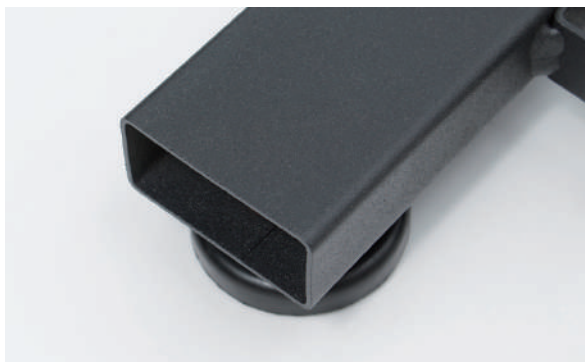


- 2** 17mm のスパナでナットを締付けます。  
ただしこの作業は全て組み上がり、実際に床に設置した際に行うため、現時点では軽い締付けで問題ありません。

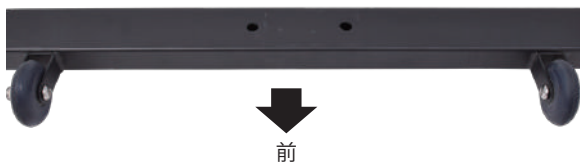


## エンドキャップの取付け

- 1** フロント土台とリヤ土台の左右にエンドキャップを取付けます。



## 土台の取付け (フロント)



- 1** 土台フロントの底側からワッシャを通したボルトを穴に通します。



# 組立て

- 2 本体フロント土台取付穴にボルトを通します。



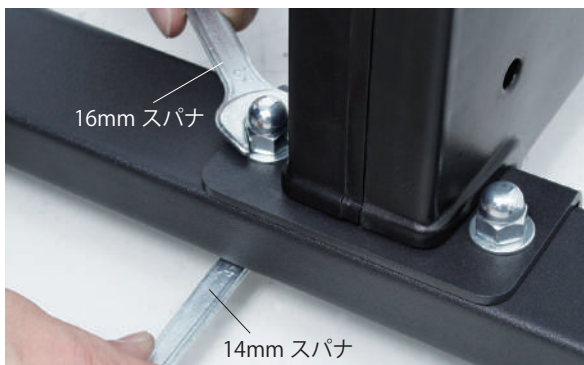
## ⚠ 注意

- ・土台の取付け時に、指を挟まないようご注意ください。

- 3 ワッシャ、キャップナットをを仮留めします。反対側も同様に行います。



- 4 底側のボルトを 14mm のスパナで押さえながら、上のキャップナットを 16mm のスパナで締付けます。左右均等に締付けます。



## ⚠ 注意

- ・ボルト、ナットを締めすぎると、土台のチューブを潰してしまいます。ご注意ください。



## 土台の取付け (リヤ)

- 1 土台リヤの底側からワッシャを通したボルトを穴に通します。



- 2 本体リヤ土台取付穴にボルトを通します。



## ⚠ 注意

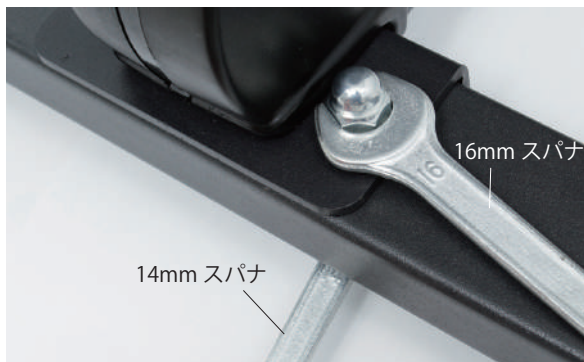
- ・土台の取付け時に、指を挟まないようご注意ください。

# 組立て

- 3** ワッシャ、キャップナットをを仮留めします。  
反対側も同様に行います。



- 4** 底側のボルトを 14mm のスパナで押さえながら、  
上のキャップナットを 16mm のスパナで締付け  
ます。左右均等に締付けます。



## ⚠ 注意

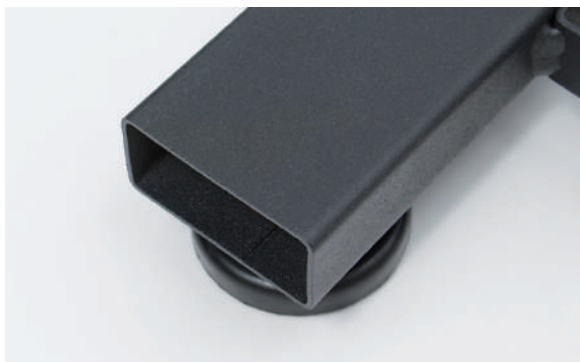
- ・ボルト、ナットを締めすぎると、土台のチューブを潰してしまいます。ご注意ください。



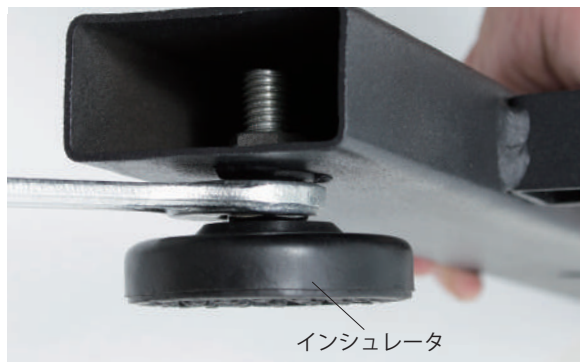
## 高さ調整

設置場所に合わせて、土台の高さの微調整ができます。※写真は分かりやすいように本体から外してあります。この作業は全て組み上がってから実際に床に設置した状態で行ってください。重量がありますので、2人で行うことをおすすめします。

- 1** ナットがエンドキャップに干渉しナットを回しづらい場合がありますので、エンドキャップを一旦外します。



- 2** ナットを 17mm のスパナで緩めます。



- 3** 手でインシュレータを回し高さを調整し、調整が完了したらナットをスパナで締付けます。

- 4** エンドキャップを元に戻します。



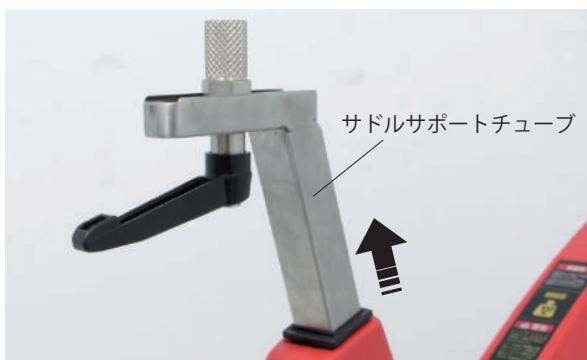
# 組立て

## サドルの取付け

- 1** 高さ調整レバーハンドルを時計回りに回し取付けます。



- 2** サドルサポートチューブを 10cm 程度持ち上げます。



- 3** レバーハンドルを時計回りに回し、サドルサポートチューブを固定します。



- 4** サドル取付軸にサドル裏のやぐら部分を挿入します。



### 👉 サドルが入らない!

サドルがきつい  
入らない場合は、  
サドル裏のやぐら  
部分のナットを  
13mm のスパ  
ナで緩めます。



# 組立て

- 5** やぐらの左右のナットを 13mm のスパナで均等に締付けます。



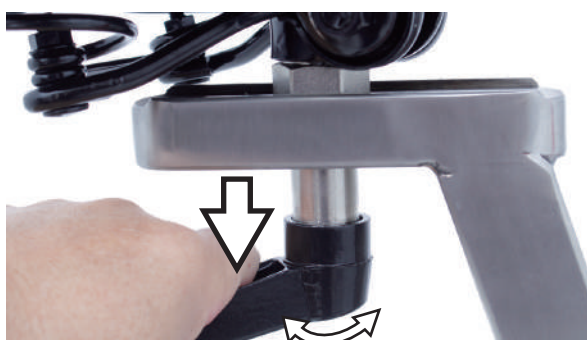
## 警告

- 締付けが不十分ですと、トレーニング中に外れたりし、思わぬ事故の原因になります。

- 6** サドルを押さえながら前後調整レバーハンドルを回し固定します。



- 7** レバーハンドルを引っ張りながら、邪魔にならないような位置にレバーハンドル回します。



## ハンドルの取付け

- 1** ハンドルサポートチューブ挿入口にコードが入っていたら取除きます。



- 2** ハンドルサポートチューブを挿込みます。約 10cm を残します。



- 3** 高さ調整レバーハンドルを時計回りに回し取付けます。





## 組立て



- 4** レバーハンドルを時計回りに回し、サドルサポートチューブを固定します。



- 5** ハンドル調整チューブの長穴に、下からレバーハンドルを通します。



- 6** ハンドル裏のボルト部分に挿込み、レバーハンドルを回し固定します。



- 7** レバーハンドルの位置を調整する場合は、レバーを引き、レバーを回転させます。



# 組立て

## メーターの取付け

- 1** ハンドル部に仮留めしている六角ボルトを外します。



- 2** メーターステーを取付け、六角ボルトを取付け締め付けます。



- 3** ステーの六角ボルト、キャップナットを一旦外します。



- 4** メーターの裏蓋を開け、ボタン電池を入れます。



- 5** 液晶画面が表示されることを確認したら、裏蓋を閉じます。



## 組立て

- 6** メーターの取付穴とステーの取付穴を合わせ、六角ボルトを通し、キャップナットを取付けます。



- 7** メーターの角度を調整し、六角レンチと 10mm のスパナで締付けます。



- 8** メーターから出ているコードと本体から出ているコードを接続します。



- 9** メーターから出ているコードとハンドルから出ているコードを接続します。



## メーターの電池の取出し方

- 1** ○部分のツメを矢印の方向に押すとボタン電池が外れます。

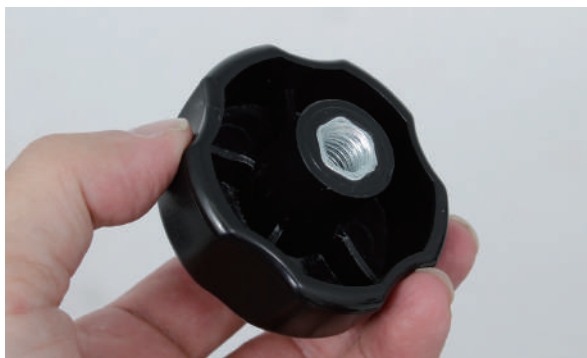




# 組立て

## テンションノブの取付け

- 1 本体の取付けボルトにテンションノブを取付けます。



- 2 17mm のスパナでナットを締付けます。



- 3 使い始めの時は、テンションノブの軸とゴムキャップの摩擦が大きいため、ノブを押した時に、「キュッキュツ」と音が鳴る場合があります。その際はシリコンスプレーなどの潤滑剤を塗布することで音鳴りが解消されます。

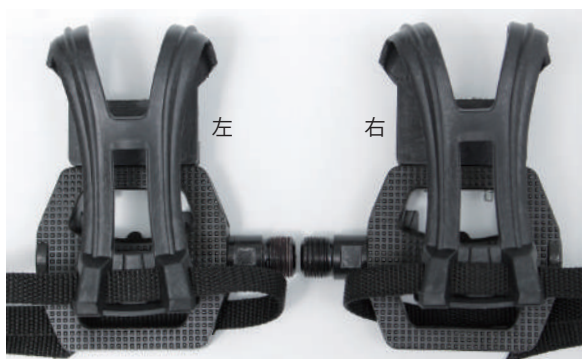


## ペダルの取付け

### ⚠ 注意

- ・ペダルは確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、思わぬ事故やガタツキ、音鳴りが発生する可能性があります。

- 1 ペダルには左右があります。



- 2 ペダル(右)を右クランクアームにねじ込み、ペダル(左)を左クランクアームにねじ込みます。

- 注意：右側のペダルは時計回りに取付けます。  
左側のペダルは反時計回りに取付けます。

### ⚠ 注意

- ・左右を間違えて無理に取付けた場合、ネジ山を潰してしまい使用できなくなります。

## 組立て

- 3** テンションノブを時計回りに回し、クランクアームの動きを止めます。



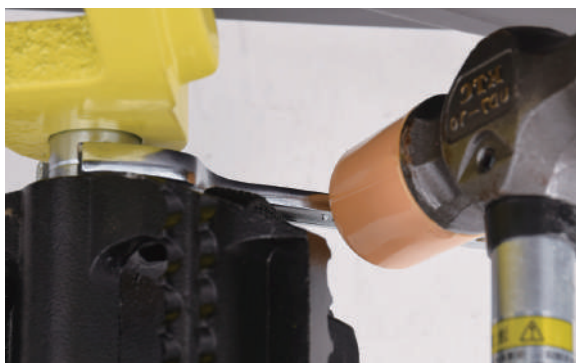
- 4** 右クランクアームにペダル（右）を時計回りに回し取付け、ペダルを手でねじ込めるところまで入れます。



- 5** 19mm のスパナで締付けます。この時抵抗を感じたらスパナを逆回しにし一旦緩め、再度締め直してください。無理に行うとネジ山を潰してしまい使えなくなります。



- 6** 根本まで締付けたら、さらにプラスチックハンマー等でスパナを数回叩きます。



- 7** 右ペダルの取付完了です。



- 8** 左クランクアームにペダル（左）を反時計回りに回し取付けます。



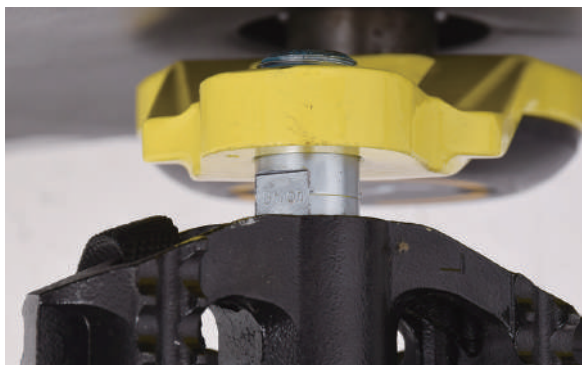


# 組立て

**9** ペダルを手でねじ込めるところまで入れます。



**10** 19mm のスパナで締付けます。この時抵抗を感じたらスパナを逆回しにし、一旦緩め再度締め直してください。無理に行くとネジ山を潰してしまい使えなくなります。



**11** 根本まで締付けたら、さらにプラスチックハンマー等でスパナを数回叩きます。



**12** 左ペダルの取付完了です。



## ⚠ 注意

ペダルの締付けが不十分ですと、トレーニング中に緩み、ガタツキ、異音の原因になります。そのまま続けると、破損やネジ山がなくなり部品交換することになりますので、緩みを確認したらすぐに増し締めをしてください。  
※付属の工具は、あくまで簡易的なものです。締付けに不安な方は、市販品をご使用ください。

## 👉 使用中にペダルが緩む。

ペダルをしっかり締付けていれば、通常の使用ではペダルは緩みません。万が一緩んだ場合は、ネジ山が見える程度緩め、付属のネジ緩み止め剤又は市販の緩み防止剤等をねじ山に塗布し再度締付けてください。



この部分にネジ緩み止め剤を塗布

# 運転操作の仕方

スピンバイクを使用することで、体力・筋肉の調子を改善し、カロリーコントロールと一緒に行うことでダイエット効果が期待できます。

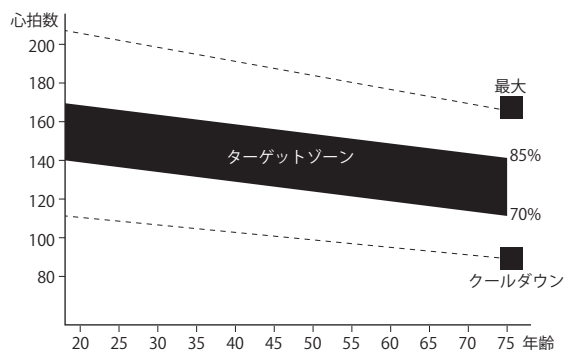
## 1 ウォームアップ段階

このステージでは、体の周りを流れる血液や筋肉が適切に働くようになります。また、痙攣や筋肉傷害のリスクも軽減されます。

スピンバイクに乗車する前に、いくつかのストレッチをそれぞれ約30秒間することをお勧めします。痛みがある場合は中止してください。

## 2 トレーニング段階

このステージでは、定期的にトレーニングすることで足の筋肉がより柔軟になります。自分のペースでトレーニングをしますが、全体を通して安定したテンポを維持することが重要です。トレーニングの負荷は、下のグラフに示すターゲットゾーンに心拍を上げることが大切です。



## 3 クールダウン段階

このステージは、あなたの心血管系と筋肉を段階的に縮小させます。

テンポを下げて約5分間続けてください。

降車後、ストレッチを繰り返します。

週に少なくとも3回トレーニングをし、可能であれば週に均等にトレーニングをすることをお勧めします。



このQRコードを読み取ることで、「運転操作の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

## ブレーキのかけ方



注意

このスピンバイクはフリーホイールシステムではありませんので、フライホイールが回転している間は、ペダルも回ります。ペダルに逆回転方向に圧力をかけて止めようとししないでください。

- 1 テンションノブを「+」側に回すことで徐々にブレーキがかかります。



- 2 緊急の場合は、テンションノブを強く押し込むことで急ブレーキがかかります。



# 運転操作の仕方

## 負荷のかけ方



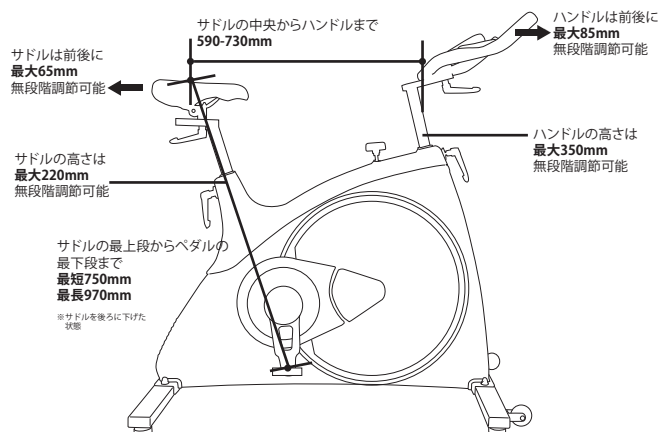
注意

普段運動していない方は、スピニングバイクの負荷を弱めでトレーニングをし、徐々に負荷を上げるようにしてください。

- 1 テンションノブを「+」側に回すと負荷が重くなり、「-」側に回すと負荷が軽くなります。

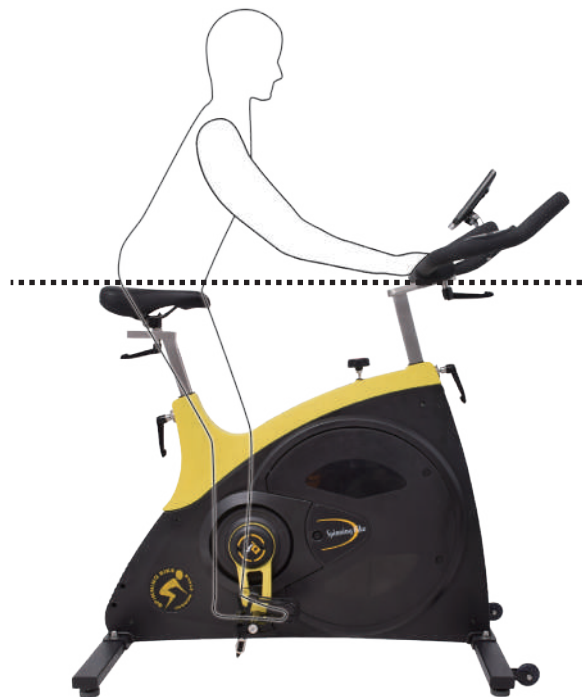


- 2 また、ペダルを漕ぐスピードを上げると徐々に負荷がかかる構造になっています。つまり、速く動かせば動かすほど負荷が重くなります。



## 乗車姿勢の調整

ペダルが一番下に来た時に膝が伸びきる手前の高さ・位置になるように調整します。ハンドルの高さはサドルと同じ高さが基本となり、ハンドルを握った時に肘が少し曲がる位置が適正です。



## ●サドルの高さ調整

- 1 サドルを押さえながら高さ調整レバーハンドルを反時計回りに回し緩めます。





## 運転操作の仕方

### ⚠ 注意

- ・ サドルを保持しないで高さ調整レバーハンドルを緩めると、急にサドルが落下し大変危険です。

- 2** サドルサポートチューブを持ち、適正な高さになったら、高さ調整レバーハンドルを時計回りに回し固定します。



- 3** 高さ調整レバーハンドルの位置が邪魔になる場合は、レバーハンドルを引っ張りながら回すことで位置を変えることができます。



### ⚠ 注意

- ・ 高さ調整レバーハンドルは、確実に固定してください。
- ・ 調整は片手でサドルを保持しながら行ってください。急にサドルが下がり、指などが挟まれ、怪我の原因になります。
- ・ 「MAX」サインまで上げないでください。トレーニング中に抜け落ちたり、不安定になったりし大変危険です。

適正ポジションは個人差がありますので、メモリはあくまで目安とお考えください。

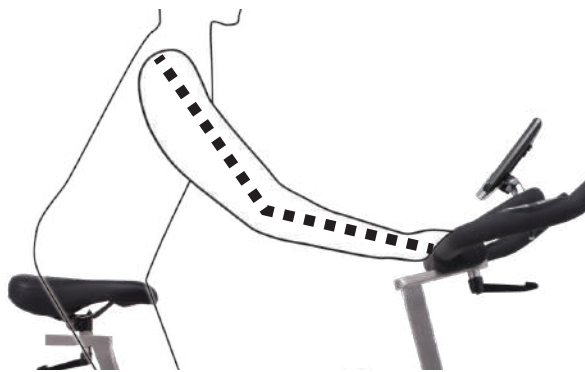


## ●サドルの前後位置と角度



ハンドルを握る位置を決めて肘が少し曲がる位置にサドルを前後させます。この時先に調整したペダルからの高さが大きく変わってしまう場合、サドルの高さを再度調整してください。サドルの角度はペダルを踏んで漕いだときにスムーズに回転させることができる位置に調整します。少し下向きの方が漕ぎやすくなります。

# 運転操作の仕方



- 1** 前後調整レバーハンドルを緩め、サドルを前後に調整します。

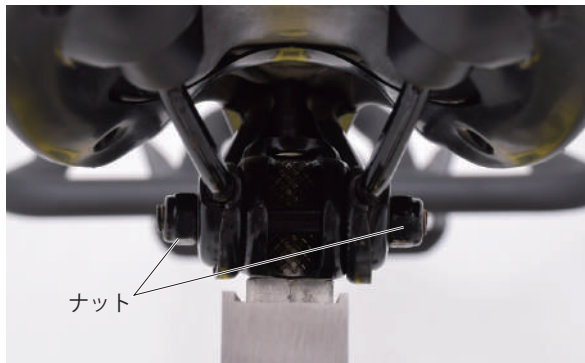


- 2** 調整が終わったら、前後調整レバーハンドルを締付けます。

- 3** 前後調整レバーハンドルの位置が邪魔になる場合は、レバーハンドルを引っ張りながら回すことで位置を変えることができます。



- 4** サドルが曲がっていたり座りにくい場合は、ヤグラの左右のナットを緩め調整します。



- 5** サドルが本体、ハンドルと一直線になっているか確認します。



- 6** 確認、調整が終わったら、ナットを左右均等に締付けます。

## ⚠ 注意

- ・ヤグラのナットは確実に締付けてください。締付けが甘いと、トレーニング中にサドルが外れ大変危険です。

## 👉 お尻が痛い。

個人差がありますが、サドルの前側を傾けることで痛みが軽減される場合があります。





# 運転操作の仕方

## ●ハンドルの高さ調整

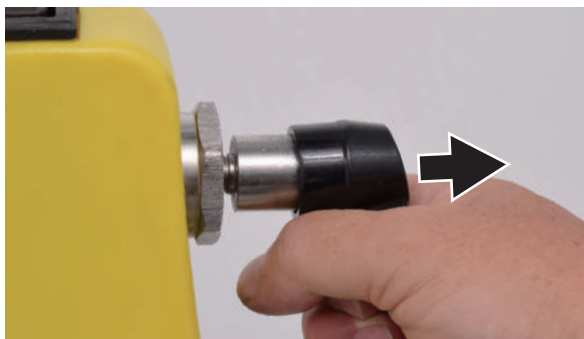
- 1 ハンドルを押さえながら高さ調整レバーハンドルを反時計回りに回し緩めます。



- 2 ハンドルサポートチューブを持ち、適正な高さになったら、高さ調整レバーハンドルを時計回りに回し固定します。



- 3 高さ調整レバーハンドルの位置が邪魔になる場合は、レバーハンドルを引っ張りながら回すことで位置を変えることができます。



## ⚠ 注意

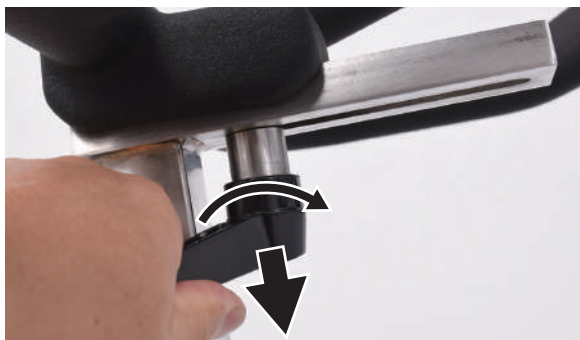
- 高さ調整レバーハンドルは、確実に固定してください。
- 調整は片手でハンドルを保持しながら行ってください。急にサドルが下がり、指などが挟まれ、怪我の原因になります。
- 「MAX」サインまで上げないでください。トレーニング中に抜け落ちたり、不安定になったりし大変危険です。

適正ポジションは個人差がありますので、メモリはあくまで目安とお考えください。



## ●ハンドルの前後調整

- 1 前後調整レバーハンドルがハンドルサポートチューブに当たり回せない場合は、レバーハンドルを引っ張りながらレバーの位置をずらし回し緩めます。※緩めすぎるとハンドルが外れますのでご注意ください。



- 2 緩めたらハンドルをスライドさせ、前後の位置を調整します。



## 運転操作の仕方

- 3 調整が終わったら、前後調整レバーハンドルを締付けます。レバーハンドルの位置が邪魔になる場合は、レバーハンドルを引っ張りながら回し位置を調整します。



## 移動の仕方

- 1 移動させる場合は、ハンドル側を押し下げ、キャスターを床に接地させて行ってください。



## ⚠ 注意

- ・段差を乗り越えたり、衝撃を与える移動はしないでください。ハンドルが破損する場合があります。

## メーターの見方



■mode/reset ボタン：ボタンを長押しすると、すべての表示が「0」にリセットされます。1回押すたびにモードがTIME（時間）→DISTANCE（距離）→CALORIES（カロリー）→PULSE（心拍数）に切り替わり、数値が点滅します。

■setボタン：mode/resetボタンで点滅させたモードの数値の設定を行います。

■オートON/OFF機能：トレーニングを開始すると、自動的にメーターの電源が入ります。また、トレーニングを終了して数分経過しますと、自動的に電源が切れます。

### ①SCAN(スキャン 自動切替え)

トレーニングを開始すると、約5秒間隔でTIME（運動時間）→DISTANCE（運動距離）→CALORIES（消費カロリー）→PULSE（心拍数）→SPEED（速度）の順番で表示を切替えます。

### ②TIME（運動時間）

トレーニングを開始すると、モニターは00:00～99:59の時間をカウントアップします。

# 運転操作の仕方

## ③DISTANCE (運動距離)

トレーニングを開始すると、モニターは 0.50 ～ 99.50km の距離をカウントアップします。

## ④CALORIES (消費カロリー)

トレーニングを開始すると、モニターは 10 ～ 9990 までカウントアップします。

## ⑤PULSE (心拍数)

トレーニングを開始すると、モニターは 30 ～ 240 まで 1 単位でカウントアップします。

## ⑥SPEED (速度)

運動速度を1時間あたりkmで表示します。トレーニングを開始すると、モニターは現在の速度を0.00～99.9 Km/時から表示します。)

## ②TIME (運動時間)

カウントダウン：運動時間を 1：00 ～ 99：00 分に設定すると、モニターは設定値からカウントダウンします。

## ③DISTANCE (運動距離)

カウントダウン：運動距離を 0.50 ～ 99.50 km に設定すると、モニターは設定値からカウントダウンします。

## ④CALORIES (消費カロリー)

カウントダウン：運動カロリーを 10 ～ 9990 に設定すると、モニターは設定値からカウントダウンします。

## ⑤PULSE (心拍数)

心拍数を 30 ～ 240 に設定すると、心拍数を測定します。

※心拍数は、ハンドルの接触パッドを両手で握らないと計測されません。数値は目安です。

## 数値のカウントダウンの方法



**1** mode/resetボタンでモードを選択します。選択されたモードは点滅します。

**2** setボタンで数値を設定します。

**3** トレーニング中に設定した数値に達成すると「ピッピッピッ」とアラームが鳴ります。



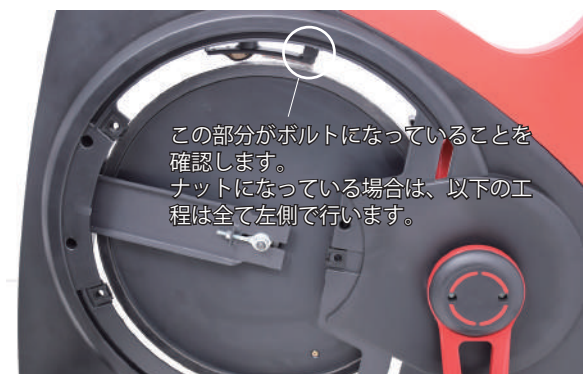
# 点検・整備の仕方



このQRコードを読み取ることで、「点検・整備の仕方」を動画でご覧いただくことができます。

## ブレーキパッドの交換

- 1 右側のホイールカバーの3カ所のネジを反時計回りに半回転し緩め、カバーを外します。



※見やすいように反対側のカバーも外しています。

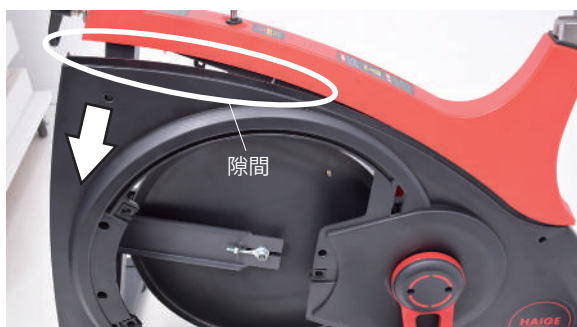
- 2 カバーの5カ所のネジをプラスのドライバーで外します。



- 3 前後の土台を固定しているナット（右側のみ）を16mmのスパナで外します。



- 4 カバーを手前下にスライドさせ、上部に隙間を作ります。



- 5 隙間からマグネットステーの支点部のボルト、ナットを外します。





## 点検・整備の仕方

- 6** 10mm のスパナでボルトを固定しながら、10mm のスパナでナットを外し、ボルトも引き抜きます。



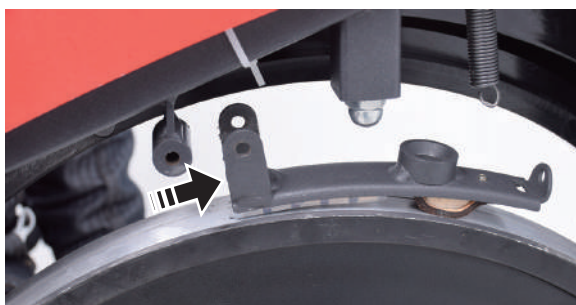
- 7** スプリングを外します。



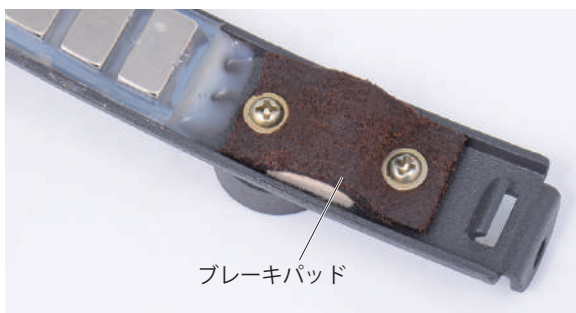
- 8** テンションノブを緩め引き上げます。



- 9** マグネットステーをずらします。(強力マグネットのため少しずつずらして外します。)



- 10** ネジを外し、ブレーキパッドを外し、新しいブレーキパッドと交換します。



- 11** 取付けは逆の手順で行います。

## お手入れの仕方

---

スピンバイクを長期にわたりご使用いただくために、定期的なお手入れをしてください。

### 本体

汚れは、乾いた柔らかい布などで拭取ってください。汚れが落ちない場合は、中性洗剤を薄めて拭取ってください。

また、汗が付着したまま放置しますと錆の原因になります。使用後は毎回、汗がかかった部分は拭き取る習慣をつけてください。

### 保管

使用しない時は、テンションノブを一側（反時計回り）に回し緩めておいてください。

## 故障と思ったら

---

症状	原因	対処
ペダルを漕ぐと異音がする	ペダルの緩み	ボルトの増締め
	ペダルのネジ山がつぶれている	交換
	クランクアームの緩み	ボルトの増締め
ブレーキをかけると擦れる音がする	ブレーキパッドがホイールに当たっている	正常

# 消耗品一覧・ご注文

商品名	商品コード		価格(税抜)	注文個数
ベルト (1本)	hg-y700rnp026		1,400 円	
レバーハンドル	hg-y700rnp005		590 円	
ペダル (左右)	csby800-p07n		3,455 円	
サドル (イエロー)	hg-y700np004		3,200 円	
サドル (レッド)	hg-y700rnp004		3,200 円	
ブレーキパッド	hg-y700rnp030		500 円	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)

※価格は改定される場合があります。

※電話・FAXでのご注文は、代金引換での販売となります。

代金引換手数料	
10,000 円未満	300 円
10,000 円～ 30,000 円(税別)のご注文	400 円

送料	
10,000 円以上(税別)のご注文	無料
10,000 円未満(税別)のご注文	一律 800 円

※別途消費税がかかります。

★FAX でのご注文の場合は、上部表右の注文個数を記入し、下記に必要事項をご記入の上送信してください。

# FAX.0276-55-2276

記入日	令和	年	月	日
-----	----	---	---	---

お客様情報			
フリガナ			
氏名 会社名	様		
ご住所 お届け先	〒	—	
電話番号		FAX 番号	



本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

## 1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

## 2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

## 3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
  - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
  - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
  - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
  - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
  - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

## 4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

## 5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。  
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。  
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

## 6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
  2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
  3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
  4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
  5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

# お客様ご相談窓口

## 故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

### お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

### ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

## 故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

### お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

### ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

## 故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。  
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

### お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理\*1か、引取り修理\*2か、出張修理\*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。  
※ご希望に応じて相談させていただきます。

### 販売・修理店

- ②受付
  - ③故障内容の確認
  - ④故障装置の修理
- \*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。  
\*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。  
\*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

## 修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

## 修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

# 販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト ▶ <http://www.haige.jp/agency.html> ハイガー修理 検索

本店サイト ▶ <http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト ▶ <http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

## 「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日  
無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



### ハイガー産業 株式会社

〒370-0503  
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

ハイガー 検索

<http://www.haigeshop.net/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

重要なお問い合わせ

0276-55-2275

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が続いております。ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。  
お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要事項が記載されています。

受付：月曜日～金曜日 10:00～17:00 第1・第3・第5土曜日 10:00～12:00  
受付中止：平日 12:00～13:00 ©定休日：第2・第4土曜日、日曜日、祝祭日